

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	伊丹市立児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 29日		2024年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	127名	(回答者数) 104名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 16日		2024年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 24名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な職種の職員と話し合うことができるので、こどもを多角的に観て支援方法を考えることができる。	会議の中で、それぞれの専門的視点での意見交換を行い共有し、一人ひとりに合わせた支援に繋げられるよう努めている。	職員で連携し、センター全体で会議や研修を重ね、専門性の向上に努める。
2	親子通所を通し、親子で様々なあそびの経験を重ね、保護者と情報共有し、親子共に成長できる。	保護者と日々のこどもの様子や変化を保育の現場で確認し合い、共有する中でこどもの成長を喜び合う時間を大切にしている。また、保護者の不安な思いに寄り添い支援方法を一緒に考えている。	親子通所の時間が親子ともに楽しく成長できる時間となるよう保育の工夫をしていく。

3	センター内には相談支援事業所や形態の違うクラスがあり、それぞれのクラスの見学の調整がやすく、こどもにとって必要な支援の場を考える機会を保護者に提供しやすい。また、横断的・縦断的な支援に繋げやすい。	保護者へ情報提供の1つとして見学日を設けている。見学希望があればすぐに対応している。	引き続き、保護者の想いを受け止めながら次の移行先を一緒に考えていく。
---	--	--	------------------------------------

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	行事や保育の様子等、具体的な場面をホームページに掲載できていない。	個人情報の観点から掲載する写真の選択に苦慮する。	個人情報に配慮しながら、適宜見直しをし配信していくことに努める。
2			
3			